産業立地論 II

科目ナンバー　8D309
専門 地域経済系　　選択
2単位

丹羽　孝仁

1. 授業の概要（ねらい）

サービス経済の深化に伴い、現実の経済活動は多種多様なものとなっています。本講義では、多国籍企業のグローバルR&Dや文化芸術産業といった非物質的な産業立地を取り上げることで、多様な地域経済の実像に迫ります。
この授業ではDP1に関連する知識と技法を習得します。

2. 授業の到達目標

① 産業立地の理論を説明できる。
② 産業立地の特徴を理解する。
③ 地域経済に関わる産業立地の諸現象をイメージできる。
④ 様々な地域や産業、企業の知識を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験と期末レポートの両方を課します。
試験（40%）、期末レポート（30%）、授業への参加態度（30%）で評価します。
試験は採点基準を示すとともに、採点結果をLMS上でフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

教科書
松原宏編著　『知識と文化の経済地理学』2017年、978-4772252959　古今書院
参考文献
松原宏編　『産業集積地域の構造変化と立地政策』2018年、978-4130461221　東京大学出版会
松原宏・鎌倉夏来　『工場の経済地理学』2016年、978-4562092062　原書房

5. 準備学修の内容

【予習】
講義はテキストの章と対応させて進めます。準備学習として、該当の章を通読してください(1時間程度)。
【復習】
講義後に資料をLMSにアップします。テキストと資料を基に復習し、各自でまとめノートを作成してください(2時間程度)。
試験には各自が作成したまとめノートの持ち込みを許可します。

6. その他履修上の注意事項

LMSを使用します。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：知識と文化の経済地理学
【第2回】　グローバル知識結合と研究開発の地理的集積(1章)
【第3回】　日系電機企業による研究開発の海外展開(2章)
【第4回】　パリ大都市圏における研究開発集積の変容(3章)
【第5回】　日本の造船業集積の維持メカニズム(5章)
【第6回】　鉄道車両工業の技術蓄積とサプライヤーシステム(7章)
【第7回】　米菓産業集積における技術継承と技術革新(8章)
【第8回】　東京における広告産業集積の多極化(9章)
【第9回】　パブリックアートの拡散と地域の受容(10章)
【第10回】　映画ロケ地の選定とフィルムコミッション(12章)
【第11回】　企業文化と近代化産業遺産の保存・活用(14章)
【第12回】　市町村合併と修景まちづくり事業の継承(15章)
【第13回】　オタク商業空間と中心市街地の活性化(16章)
【第14回】　まとめ
【第15回】　試験、解説